

松江市小中一貫教育だより NO.7

小中一貫教育推進係 文責：安部

「松江市の教育のさらなる充実をめざして」

「DREAMS from MATSUE ～ふるさと松江から、夢を実現し未来を切り拓く～」…今年度、松江市の教育理念や、それを実現するための方針、重点的な取組を示す「松江市教育大綱」が改訂され、この4月から施行されました。この基本方針は、

- I 生きる力を持った子どもたちの育成
- II 一人ひとりの育ちと学びを支える体制づくり
- III 子どもたちの教育環境の充実
- IV 生涯にわたり心豊かに学び合う環境づくり



の4つの柱で構成されています。

平成22年度より推進している松江市の小中一貫教育は、「学校・家庭・地域が連携・協働し、豊かな関わり合いの中で子どもたちを育み、子どもたちが安全・安心な環境で質のよい教育を受けることができる学校づくり」の根幹となるだけでなく、そこに「学校運営協議会」「学園教育推進会議」を加えることで小中一貫教育の体制にさらに厚みを増し、地域ぐるみで子どもたちを育てる環境の充実に取り組んでいきます。

松江市小中一貫教育に関しては、これまで各学園、各校で蓄積してきた多くの財産があります。これからもその財産を活かしながら、教職員一人一人が力を発揮し、協働し、思いを膨らませ…結果として、子どもたち、学校・地域、教職員が輝くように創意工夫していく必要があると考えています。

また、現在、市立学校3校目となる「義務教育学校」の建設もめざして動きはじめています。この義務教育学校についての理解を深めることを始め、松江市の小中一貫教育を通じて、他校種の文化やシステムの違い、子どもたちの成長や学年に応じた特性等も実際の取組の中でこれまで以上に実感してもらいたいと考えています。

新しい年度がスタートしました。コロナ関連や様々な不測の事態が今後も想像できますが、できることを精一杯、互いに力を合わせて子どもたちの教育に向かうことができればと思います。この1年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度「小中一貫教育アンケート」…お世話になりました！

令和3年度は(も)、各学校、各学園共に、コロナ禍で思うように計画を進めることができなかった1年でした。しかし、そのような中でも子どもたちのことを考え、できることを、できる形で実施していただいたこと、小中一貫教育の意識をもって取り組んでいただいたことをたいへんうれしく思います。ありがとうございました。

このアンケート結果から読み取れるのは、松江市小中一貫教育のある一面、ある一部分にすぎないかもしれませんが、結果集計から次のようなことを感じました。

○質問項目「学園の『めざす子ども像』や『教育目標』を意識し、学園独自の『柱となる取組』を推進できている」で肯定的に捉えている教職員が概ね高い割合を示していた(中には90%以上の学園、100%の学園もあった)。教職員が向かう所をしっかりと意識している学園は、その後の質問項目の肯定的な割合も高い。

○質問項目「家庭・地域に進んでかかわることができた」「地域学校コーディネーターを積極的に活用することができた」で肯定的に捉えている教職員が高い割合を示している。「地域と共にある学校づくり」へ向けていい動きになっている。

○義務教育学校への質問項目「小学校籍と中学校籍の教職員が協力して、教科指導、生徒指導が行われている」「義務教育学校に勤務することは自分にとってよい経験である」で肯定的に捉えている教職員は90%以上であった。反面、質問項目「義務教育学校で行事などの日程調整がしやすくなった」「義務教育学校は働き方改革を進めることに寄与している」で肯定的に捉えている教職員は低い割合であった。この低い割合をいかに高めていくかが今後の課題である。